

坂元雪為

きもとと
せつこう

能楽評論家、俳人、歌人。

明治十一年四月二十五日

福岡縣生れ、昭和十二年一月五日歿（八五—一九三六）。舊姓白仁、本名

二郎。別號天邪鬼、白仁白楊。明治四十年東京帝國大學文科大學國文

學科卒。東京朝日新聞に入社し、紙上ハ能評を掲載。昭和二年日本

大學教授、九年雜誌「能楽」ヲ復刊主宰。

著書「能楽小話」（大正二年七月十一日ゆんや書店）、

正岡子規
氏の

隨筆』（大正四年二月十八日名著評論社、敬文館發賣「名著梗概及評

論」）、「謠と能のめぐり」（合著・能楽放談會—神田石秋共編、

大正七年四月二日磯部甲陽堂）、「名著評論文集・第一輯」

福永
生方
川路柳

演郎合著・名著評論社編、大正八年二月十日名著評論社、敬文館）、「謠

と能のはなしのたね』（内題「謠と能のはなしのたね」編、昭和二年四月

十五日能樂書院）、「葉牡丹の渦」（合著、昭和十二年十二月二十六

日曲水社「曲水叢書」）等。